

先進的な取り組み評価

第16回ひょうご仕事と生活のバランス企業表彰

株式会社アシダコーポレーション (丹波市)

学び合って互いに支援

競争の激しいサイン広告製作業界の中で、「短納期」「総合力」を強みに売り上げを伸ばしてきた。しかし残業、休日出勤が常態化。そこで製作現場の5つのラインごとに専門化した業務を学び合い、繁忙期に相互支援できる体制を整えた。また、全社員に「会社に求めること」について意見を出してもらい、それを踏まえて時間単位の有休取得などを導入。直近10年では高卒者の定着率が100

%に。10月、全社員をホテルに集め、初の経営方針発表会を開催。ミッション、ビジョン、バリューを策定し、社員の一体感をさらに高めようとしている。



上林建設株式会社 (宍粟市)

働き続けられる職場に

2019年に「お客さま、社員、パートナー企業と共にまちをデザインする」というビジョンを掲げた。社員の採用に当たっては「入社をゴールとするのではなく、働き続けてもらうことが目的」という考えで、就活時のインターンから入社1年目まで一人一人と向き合う「1000日プログラム」を導入した。20年には、2カ所に分散していた事務所を宍粟市に集約し本社オフィスを完成させた。部門

間の壁が取り払われ、コミュニケーションしやすい環境も整っている。市内の建設会社では、初となる女性現場監督も誕生している。



服部洋平副知事(左端)から表彰される「ひょうご仕事と生活のバランス企業表彰」受賞企業代表者ら(いずれも兵庫県公館)

兵庫県は公労使3者協働の枠組みの下、ワーク・ライフ・バランス(WLB)の全体的な推進拠点として2009年、ひょうご仕事と生活センターを開設。県内事業所に、WLBを浸透させる取り組みを進めている。本年度は、先進的な取り組みを行っている15の「ひょうご仕事と生活のバランス企業」が受賞。フェスタでは、代表者が出席した14企業を表彰し、続いて「キャッチフレーズ」のグランプリ作品「ひとつじゃない、あなた

県内15企業が受賞

「ひょうご仕事と生活センター ワーク・ライフ・バランスフェスタ」が11月29日、神戸市の兵庫県公館で開かれた。働く人が仕事と生活それぞれに良い影響を与えながら、充実した人生を送ることのできる仕組みや風土づくりに率先して取り組んでいる企業が表彰された。また、神戸大学大学院経営学研究科教授の上林憲雄さんが「センター15年とこれからの人的資本経営について」の演題で講演した。



表彰式後、壇上に並ぶ受賞企業の代表者ら

の役割、あなたの生き方」の作者、荒木裕佳子さんに賞状が手渡された。また、各企業でWLBの推進役を担うキーパーソン養成講座に参加した11団体16人の修了式も行われた。この後、上林さんが講演し、「ワーク・ライフ・バランスの概念は、質的に充実してきた。経営者は真に人を大切にす経営になっているか、問い続けるべき」と述べた。

グリコマニュファクチャリングジャパン株式会社神戸、兵庫工場 (神戸市西区、三木市)

妊婦専用の作業服考案

全国に13ある工場の中でも神戸工場は女性社員の比率が高く、育児・仕事両立の施策に率先して取り組んだ。2019年には工場内に保育園を開設。マタニティー専用作業服も考案した。妊婦の社員は、以前は大きめのサイズを着用していたが、余った部分が機械に巻き込まれる危険を防ぐため上着にタックを付けた。ベルトをゴムにするなど見栄えの改良にも努めた。グリコグループでは全社員が子ども

の出生後6カ月以内に1カ月の休暇取得を必須にしている。神戸、兵庫工場ともに男性社員も100%取得し、互いを助け合う雰囲気醸成されている。



金井重要工業株式会社 (伊丹市)

女性の新卒採用を強化

主力は繊維機器や不織布製品の製造販売で、創業130年の老舗企業。2014年ごろから新卒採用の体制を強化して女性の採用を積極的に進めてきた。さらに男性専用だった社員寮に女性フロアを設けたり、産休・育休ガイドブックを作ったりして、男女ともに長く働きたい環境づくりに力を入れた。直近7年間の新卒採用は37人中、女性が13人(35.1%)を占める。産休・育休は、23年度の対象者10人の

うち9人(男性は8人)が取得した。女性の増加と子育てしやすい環境づくりによって、実直な社風に明るさが加わり、会社全体が活気づいている。



株式会社籠谷 (高砂市)

意見出し合い制度導入

創業100年を機に、2021年からワークライフバランスに取り組み鶏卵加工販売会社。女性が従業員約7割を占めることから、新たに立ち上げた若手女性社員のみで構成するチームで出した意見を、新休暇制度やメンター制度の導入につなげ、女性管理職の比率向上を進める。製造部門では、自由にアイデアを出し合う「ブレインストーミング会議」、改善活動を活発

化させる工場巡回を実施。設備面の充実だけでなく、他部門を実際に見ることで自部門にはない新たな気づきを業務効率化につなげている。



有限会社地域サービスイモネ (姫路市)

病児、学童保育を整備

「訪問看護リハビリステーション癒々」などの医療、福祉、教育施設を運営する。子育て世代のスタッフを支えるため、病児保育対応のこども園や学童保育などを整備。安心して働ける体制や、30分単位の有給休暇取得制度、性別・子どもの年齢に関係なく選択できる時短勤務制度なども取り入れる。また、物理的な働きやすさに加え、スタッフの不安や悩みを解消するため、知識技術を伝達する教育専

門チームやハラスメント対策室を発足させ、面談回数を増やし精神的なサポートも。スタッフにやりがいを持ってもらうことで、サービス向上につながる。



神鋼鋼線工業株式会社 (尼崎市)

実用的な行動指針完成

明石海峡大橋のケーブルや超高層建築物のエレベーターワイヤロープなどを手掛けてきた神戸製鋼所のグループ企業。社会の変化に対応して成長し続けられる会社を目指し、会社や職場で大切にしたい価値観を思い描いた行動指針(クレド)づくりに取り組んだ。「意志」「団結」「挑戦」のキーワードと「共に、汗をかく」などのメッセージで構成。部署を超えた若手から管理職までが議論を重ねて思いを

込めただけに、立ち止まった従業員がまた歩み出せるような実用的なクレドが完成した。表彰制度などを通じて、その浸透や体現も図っている。

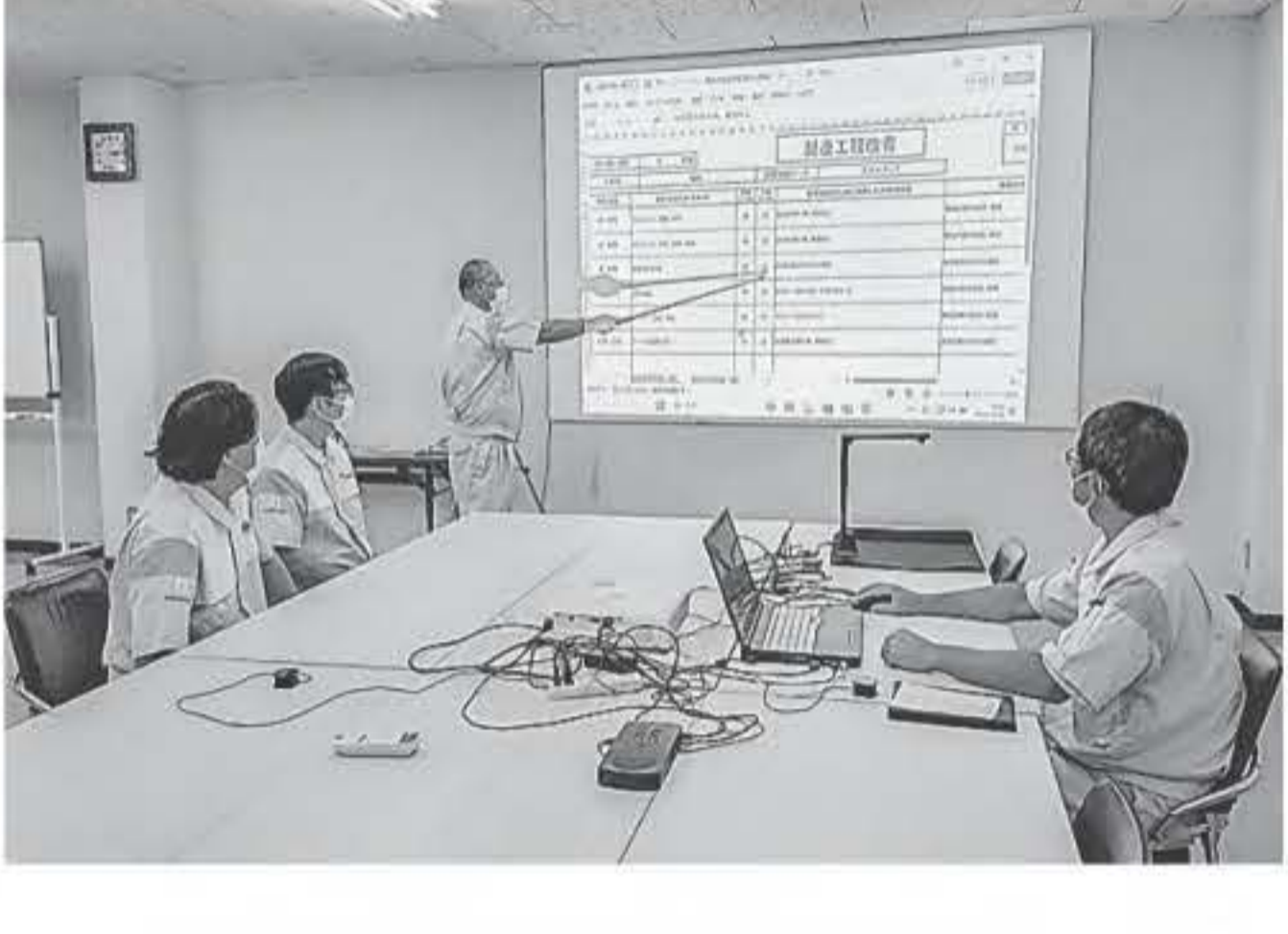


ケンブリア株式会社 (伊丹市)

働きがいの向上を目指す

1968年に創立した健康食品・青汁のパイオニアメーカー。掲げる理念はお客さまはもちろん、従業員とその家族の健康と幸せな暮らしの実現だ。以前から私傷病休暇やがん治療費補助などの健康支援策のほか、時間単位の有休制度や時間差出勤制度を導入して働きやすい職場づくりを進めてきた。「働きやすさ」の次のステップとして目指すのが「働きがい」の向上。総務課担当が約100人の全従業員

にヒアリングを実施して問題点を全社で共有。その一つとして公正な人事評価制度につなげるため管理職研修に取り組むなど、課題解決に乗り出している。



株式会社東光パネ工業社 (尼崎市)

報酬そのまま時短実現

各種パネの製造会社で、製品は造船、重機、産業機械、プラント分野などで使われている。昨年、報酬は従来通りのまま労働時間を短縮した。1日1時間短くし、週40時間だった労働時間を35時間に。従業員たちはラッシュに巻き込まれることなく帰宅することができ、家族と過ごしたり勉強したりして生活を充実させている。創業77年。100年企業を目指し、「マンダラチャート」を作成

した。会社の大目標を達成するため、社員一人一人がどう行動すべきかを意識するために役立てている。製造現場の環境改善にも積極的に取り組んでいる。



株式会社ティエルブイ (加古川市)

子育て制度や風土整う

世界中の蒸気プラントを製品・ソリューションで支える計測・制御機器メーカー。2020年に就任した3代目社長の下、めりはりある働き方推進に取り組んでいる。キャリアや生活の課題は年齢によって変わるため、年代別に「ライフ・マネー・キャリア研修」を実施。ライフイベントへの備えや、今後のキャリアをゲームやグループワークを通じて描ける。満足度が80%を超え、同年代とのつながりも強

まった。子育てとの両立は制度や風土が整っており、早期復帰支援手当の導入などさまざまな考えの人にとっての働きがい、働きやすさを追求している。



株式会社TVE (尼崎市)

男性の育休取得率向上

原子力・火力発電所などで使用する高温高压バルブの製造販売、メンテナンスが主事業の100年企業。女性活躍などを推進する組織横断型プロジェクトを2018年から始め、従業員の女性比率が10%から15%に。従来男性のみだった施工管理への配置や女性管理職登用も進んだ。並行して男性社員の育児休業など取得目標を通算1カ月(月平均労働日数で20日)以上に設定。管理職対象に育休取得推進セミ

ナーを実施し、ここ2年間は該当する全男性社員が平均14.7日の育児休業などを取得。1、2日程度ではなく、一定期間育児に専念する風土が醸成された。



モリ・プランズ株式会社 (豊岡市)

保育士も楽しむ行事に

保育園などの運営を行う。保育士は行事の準備に追われ、帰宅後に作業することも少なくなかった。そこで「持ち帰り」も含め残業をなくすために皆で考え、低年齢児の保育に沿った行事の見直しを行った。今では祖父母参観やハロウィーンのイベントなど、保護者だけでなく保育士も一緒に楽しめる行事を実施している。また、「役割」に「使命」を伴わせることも重視。一例として交流サイト(SNS)

担当者は、子どもたちの日々の写真を保護者に届けるために卒園アルバムを作成。保護者が喜ぶ姿を見て、さらにやる気が向上した。



株式会社ミュキット (神戸市須磨区)

社員発案の休暇を採用

神戸市須磨区で創業し、地元で根付いて40年余り。文具・事務用品の販売にとどまらず、近年はITを用いたオフィス環境のトータルサポートも行っている。仕事の抱え込みを解消するため、メンバー全8人の業務量や進捗がよく一目で分かるように社内システムと相互フォロー体制を構築。「自分記念日休暇」など社員が発案した特別休暇を採用したり、料理当番制のランチ会でコミュニケーションも深

めたりして職場環境の整備に努めている。達成数字の可視化や担当営業制度の導入を通じて、「働きやすさ」から「働きがい」へ取り組みを進めさせている。



株式会社ピーエムシー (淡路市)

自動化進め残業大幅減

大型オートバイ用部品の企画・販売などの事業を展開し、会社の成長に伴って仕事と生活のバランス実現に取り組んでいる。受注データの伝票起票などルーティン作業の自動化に成功したほか、多品種小ロットの商品約5000種に番号を付け、誰もが素早く棚出し作業をできるように改善。月22時間だった平均残業時間が3時間まで減少した。そのほか全部署で業務の棚卸しを実施し、その結果を職能

要件書にまとめてキャリア面談に活用。併せて評価制度の改善も図り、社員のモチベーション向上やキャリア形成の支援につなげている。

